広　　場

■協会だより

■2022年度　植調関東支部雑草防除研究会

日時：2022年12月21日（水）13:15～17:00
　　Zoom利用によるWeb会議形式にて開催
内容：関東エリアで抱える難防除雑草問題への対応について
参加費：無料（事前申込制）
参集範囲：公益財団法人日本植物調節剤研究協会（関東支部）会員
参加申込み締切：12月９日（金）
申込み問合せ先：
　植調関東支部長　酒井　長雄
　E-mail: n.sakai@japr.or.jp

■研究会等

■令和4年度日本学術会議公開シンポジウム

テーマ：持続的な食料保障に向けた植物保護の新技術
主催：日本学術会議農学委員会植物保護科学分科会・日本植物保護科学連合
日時：2022年12月3日（土）13:00～16:50
　　Zoomによるオンライン配信
講演：①内生微生物を活用した「プロバイオティクス農業」
　　秋本　千春（農研機構生物機能利用研究部門）
　②クオラムセンシングの制御による植物病害防を目指して―抵抗性誘導剤と微生物農薬―
　　甲斐　建次（大阪公立大学大学院農学研究科）
　③青色光の殺虫効果を利用した害虫駆除技術の開発とその展望
　　堀　雅敏（東北大学大学院農学研究科）
　④植物免疫プライミングの調節機構と活用への展望
　　仲下　英雄（福井県立大学生物資源学部）
　⑤ポスト情報社会の持続的雑草管理に向けた技術的，社会的展望
　　浅井　元朗（農研機構植物防疫研究部門）
参加費：無料（事前申込制）
参加申込み締切：11月26日（土）
申込み問合せ先：
　筑波大学名誉教授　松本　宏
　E-mail: hmatsu@biol.tsukuba.ac.jp

■第29回農薬レギュラトリーサイエンス研究会

テーマ：新たに導入された「農薬使用者への影響評価」について考える
主催：日本雑草学会
日時：2022年12月15日（木）13:00～17:00
　　Webexによるオンライン配信
講演：①基調講演 合理的なレギュレーションのための規制影響評価 (RIA) の活用
　　岸本　充生（大阪大学）
　②作業者安全性評価の実際と想定影響
　　元場　一彦（日本農薬株式会社）
　③農薬の使用者暴露評価における圃場試験とその課題
　　荻山　和裕（一般社団法人日本植物防疫協会）
　④Higher tier operator exposure risk assessment in the EU (仮)
　　Mark Best（CropLife International）
参加費：日本農薬学会会員（個人会員）1,000円、その他一般 2,000円
参加申込み締切：12月8日（木）
申込み：日本農薬学会ホームページ（http://pssj2.jp/）を参照

植調第 56 巻　第 8 号

■ 発　行　　2022 年 11 月 17 日
■ 編集・発行　公益財団法人日本植物調節剤研究協会
　　東京都台東区台東 1 丁目 26 番 6 号
　　TEL 03-3832-4188　FAX 03-3833-1807
■ 発行人　　大谷　敏郎
■ 印　刷　　㈲ネットワン

© Japan Association for Advancement of Phyto-Regulators (JAPR) 2016
掲載記事・論文の無断転載および複写を禁止します。転載を希望される場合は当協会宛にお知らせ願います。

取　扱　株式会社全国農村教育協会
　　〒110-0016　東京都台東区台東1-26-6 (植調会館)
　　TEL 03-3833-1821